

大洗駅待合室ベンチの共同製作について

鹿島臨海鉄道大洗鹿島線の大洗駅では、現在、駅の待合室の改修工事を実施していますが、待合室でお客様にお座りいただきますベンチを下記のとおり鹿島臨海鉄道株式会社の「いばらき海と山の地域連携事業」および農林中央金庫の「国産材利用拡大活動」として実施いたしますので、報道関係の皆様にお知らせいたします。

記

1 ベンチ製作のために連携いただく方々

(1) 農林中央金庫及び茨城県森林組合連合会

農林中央金庫と茨城県森林組合連合会は、森林組合系統や地域の林業関係者と連携し、公共施設への木製品寄贈や子どもたちへの木育活動等、木のぬくもりや森林の大切さを伝える取組みを通じ、国産材利用拡大を目指す活動を行っています。

茨城県内の国産材利用拡大活動は2015年度から実施しており、昨年度は「いきいき茨城ゆめ国体2019」に合わせ、県産材を使用した丸太ベンチを石岡市に寄贈しております(石岡市運動公園に設置)。

今回、ベンチ製作にあたり、高品質な茨城県産木材である「八溝材」を提供いたしました。

(2) 茨城県立水戸産業技術専門学院

一年生がベンチ製作を手がけます。

茨城県立水戸産業技術専門学院は、大洗鹿島線「常澄駅」の近くにあり、多くの学生が大洗鹿島線を利用しています。

学院に木工の専門はありませんが、建築システム科の授業の中で、木工について、基礎的な部分を学んでいます。

駅の中で実際に使用されるベンチを製作することを通して、貴重な経験や学びになるとして参加していただきました。



(3) 石井邦明デザインスタジオ一級建築士事務所

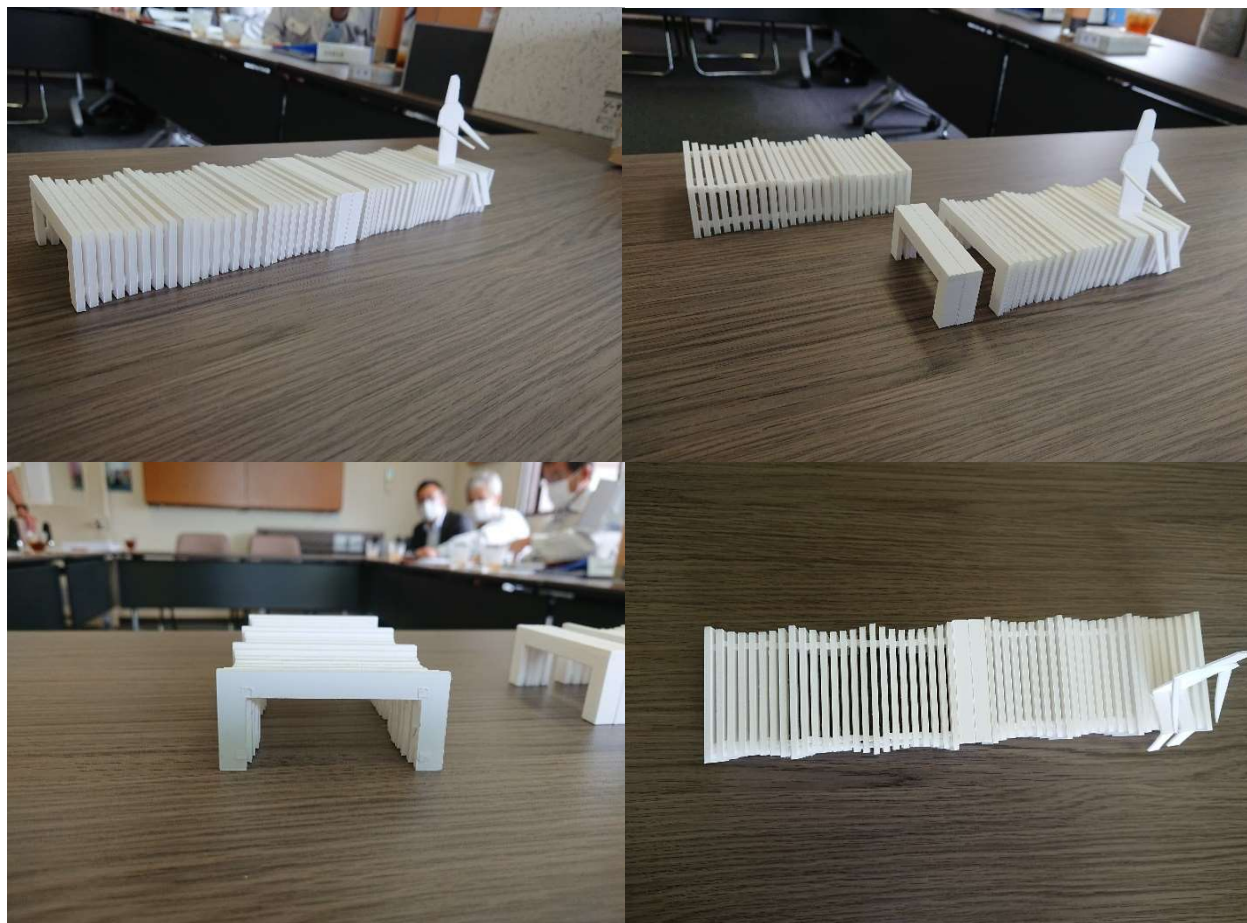
ベンチのデザインを担当します。

大洗駅待合室改修のデザイン設計を行っており、待合室の雰囲気や大洗町のイメージに合わせてベンチについてもデザインしていただきました。



2 ベンチデザイン

大洗らしく、海の波をイメージしたデザインとなる予定です。



3 大洗駅の待合室の改修について

大洗町の観光交流センター「うみまちテラス」が大洗駅の隣に整備されることから、大洗駅の待合室についても「うみまちテラス」への動線を意識した改修を行います（工事完了予定 10月末）。

デジタルサイネージなどを導入し、「大洗・ひたちなかリゾート構想」の玄関口の1つとして魅力向上を図っていきます。

併せて、QRコード決済（paypay）を駅窓口にも導入する予定です。



【本件に関するお問い合わせ先】 農林中央金庫関東業務部(中川、奈良田) Tel:03-5220-9668
鹿島臨海鉄道株式会社企画開発部(鈴木) Tel:029-267-5200